

# 保健師の効き脳とチーム力との関連 — 保健師の年齢別比較 —



○若杉里実（愛知医科大学看護学部）

## 【目的】

ハーマンモデル理論(大脳生理学)をベースに開発された「効き脳診断」は、大脳が最初に反応する第一感情を測定することによって、「論理・理性脳:A」「堅実・計画脳:B」「感覚・友好脳:C」「冒険・創造脳:D」の4象限から、脳の思考特性とその特徴を可視化・数値化することが可能である(図1)。

そこで、本研究は保健師の「効き脳」と「チーム力」との関連を明らかにすることを目的とする。

## 【方法】

- 1.対象:中核市,市町村保健センターの保健師。
- 2.データ収集方法:無記名の自記式質問紙調査を行った。質問項目は、効き脳に関する43項目とチーム力に関する29項目で構成した。調査期間は2012年2月から4月であった。
- 3.分析方法:対象者の年齢を4群(20歳代・30歳代,40歳代,50歳代)に分けた。効き脳4象限とチーム力29項目との関連について一元配置分散分析を行い、有意差がみとめられた項目についてはTukeyの多重比較を行った。

## 【倫理的配慮】

対象者には、研究目的・方法,研究参加の任意性,匿名性の確保などについて文書及び口頭で説明し、質問紙の回答をもって研究に同意が得られたこととした。

## 【結果】

- ・有効回答標本は134名(女性133名,男性1名)であった。効き脳4象限の平均値とSDは,Cが64.8(SD:13.4)と最も高く、次にA52.3(SD:13.1),Bが46.6(SD:14.0),Dが36.3(SD:13.9)の順であった。
- ・年齢4群と効き脳,チーム力との一元配置分散分析を行った結果、効き脳2象限とチーム力8項目に有意差がみとめられた(表1・表2)。
- ・Tukeyの多重比較では、効き脳B(堅実・計画脳)は40・50歳代に比べ20歳代が有意に高く、効き脳C(感覚・友好脳)は50歳代に比べ40歳代が有意に高かった(表3)。
- ・チーム力では、「仕事の進め方」は30・40・50歳代に比べ20歳代が有意に低い。「仕事の進捗状況の確認」「チーム仕事の貢献度」は30・50歳代に比べ20歳代が有意に低い。「メンバーへの協力依頼」は40歳代に比べ20歳代が有意に低い。「チーム仕事の連帯感」は50歳代に比べ20歳代が有意に低い。「感情のコントロール」は50歳代に比べ20歳代が有意に高かった。「メンバー間調整」「チームリーダーのやりがい」は20歳代に比べ40・50歳代は有意に高かった。

## 【考察】

- ・20歳代の保健師は、仕事を計画や順序に従って進めていく効き脳B(堅実・計画脳)が有意に高かったことから、分担仕事の細かい手順の指示や自分の仕事の進捗状況の確認を望んでいた。また、メンバーへの協力依頼ができないためチームの連帯感は低く、チーム内での自分の仕事の貢献度も低いと思っていることが示唆された。職場内では対立を避けて自分の感情をコントロールしていることが示唆された。
- ・40歳代の保健師はチームをまとめていく効き脳C(感覚・友好脳)が有意に高かったことから、メンバー間の調整を担うとともに、チームリーダーになると自分のやりたいことができると思っていることが示唆された。

表1効き脳の年齢別平均値およびF値

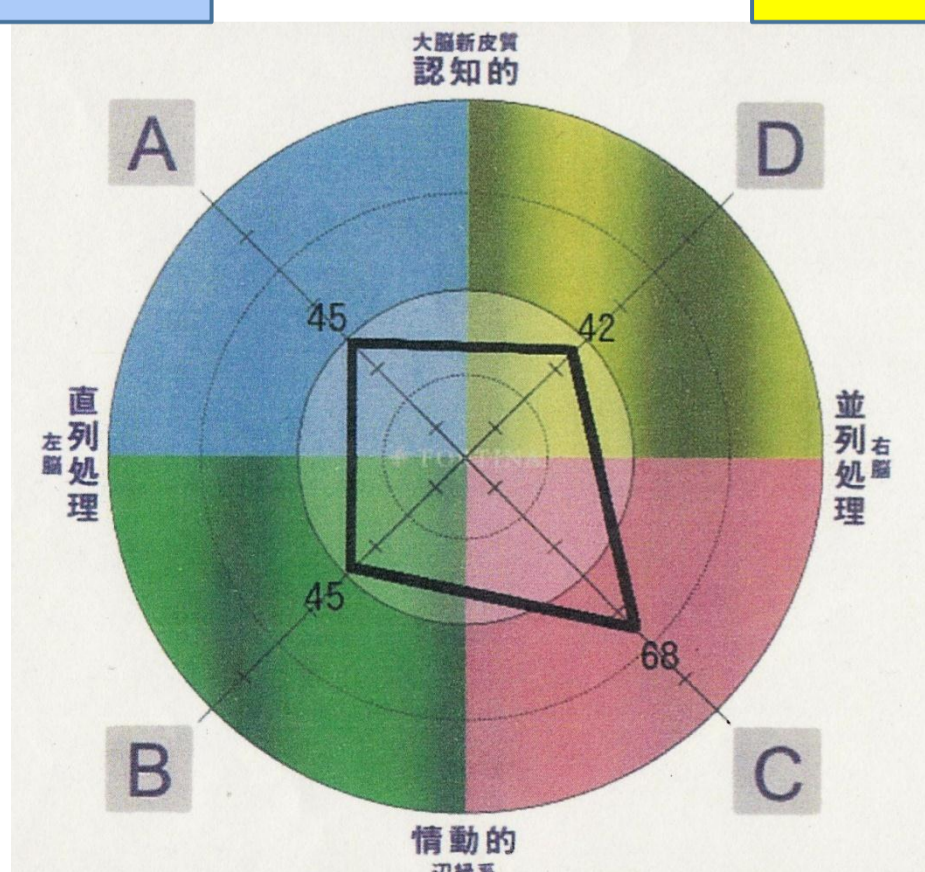
効き脳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	F値	有意確率
	n=33	n=36	n=38	n=27		
A	48.73	53.67	51.03	56.82	2.21	0.090
B	52.91	47.89	43.00	42.11	4.41	0.005
C	65.79	62.92	69.18	59.82	3.01	0.033
D	32.58	35.53	36.79	41.26	2.02	0.114

表2チーム力の年齢別平均値およびF値

質問項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	F値	有意確率
	n=33	n=36	n=38	n=27		
仕事の進め方	2.46	3.17	3.08	3.26	8.54	<0.001
仕事の進捗状況の確認	2.94	3.53	3.24	3.48	4.42	0.005
チーム仕事の貢献度	2.73	3.17	3.03	3.26	4.42	0.005
メンバーへの協力依頼	2.09	2.36	2.68	2.63	3.47	0.018
チーム仕事の連帯感	2.97	3.25	3.24	3.52	3.06	0.031
感情のコントロール	3.21	2.81	3.13	2.70	3.86	0.011
メンバー間調整	2.12	2.56	2.81	3.00	9.12	<0.001
チームリーダーのやりがい	1.73	1.97	2.22	2.59	8.71	<0.001

論理・理性脳

冒険・創造脳



堅実・計画脳

感覚・友好脳

図1効き脳4象限(例)

表3チーム力の多重比較結果

(20歳代との比較)

質問項目	30歳代	40歳代	50歳代
仕事の進め方	<0.001	0.002	<0.001
仕事の進捗状況の確認	0.006	0.329	0.027
チーム仕事の貢献度	0.020	0.187	0.007
メンバーへの協力依頼	0.551	0.020	0.073
チーム仕事の連帯感	0.349	0.365	0.016
感情のコントロール	0.085	0.964	0.032
メンバー間調整	0.056	<0.001	<0.001
チームリーダーのやりがい	0.049	0.018	<0.001

本研究はフォルティナ株式会社との共同研究である。